

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大舘直人
(J A S D A Q ・ コード 6 7 2 9)
問合せ先
役職・氏名 取締役常務執行役員経営管理本部長 岡谷茂美
電 話 0 3 - 3 2 4 2 - 0 1 0 0

**(補 足 ・ 訂 正) 第 三 者 割 当 に よ る 新 株 式 発 行 お よ び 転 換 社 債 型 新 株 予 約 権 付 社 債 の 発 行
に 関 す る お 知 ら せ の 一 部 補 足 ・ 訂 正 に つ い て**

平成19年7月2日付で発表いたしました「第三者割当による新株式発行および転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」について、下記のとおり一部補足(追加)・訂正いたします。

記

補足(追加)・訂正箇所

1. 項目の補足(追加) (P. 6。追加前第10項は、第12項に項数繰り下げ。)

・ 第 2 回 無 担 保 転 換 社 債 型 新 株 予 約 権 付 社 債 の 発 行

10. 保管振替機関への同意 該当事項なし。
11. 組織再編時の取扱い 該当事項なし。

2. 項目の補足説明 (P. 8 ~ 10)

【ご参考】

2. 本件資金調達の原因及び資金の用途に関する当社の考え方

本公開買付けならびに第三者割当増資の引受けに関し資金調達の必要性から資金調達の方法について検討した結果、対象者の子会社化によるPC事業の推進は長期的に互いの企業価値を高め合うとの観点から、将来の利益成長に資する有望な投資機会であると判断し、第三者割当増資による資金の調達を選択いたしました。この第三者割当増資により株式の希薄化が生じますが、PC事業は当社の将来に向けた成長戦略に欠かせない事業であり、その早期立ち上げは当社の将来に大きな影響があるものと見込んでおります。

なお、発行価格265円につきましては、当該増資に係る取締役会決議の直前営業日まで直近3ヶ月(平成19年3月30日から平成19年6月29日まで)に株式会社ジャスダック証券取引所が公表した当社普通株式の普通取引の最終価格の平均値であります。近年の当社の株価の推移や平成19年6月29日の時価との比較の結果、既存株主への影響を含め合理性を有するものと思料しております。

また、割当先につきましては、当社と対象者との本件業務・資本提携に関し共に協議・検討を重ね、本スキームについて理解のあるAIFに引き続き当社の株主として支援していただくことを選択いたしました。そして、株式会社三井住友銀行は、当社の子会社に貸付の実績があり、当社のPC事業の将来性に期待しており、長期的な支援を期待し割当先といたしました。さらに、当社の代表取締役が出資し代表者を務め、本スキームについて理解のあるオーエス・ホールディング株式会社は、当社にとって信頼性の高い割当先のため他社に比較し多額の資金の援助を要請する過程で、これ以上の株式の希薄化を避けるため新株予約権付社債の引受けを提案したところ受諾をいただきました。なお、本新株予約権付転換社債の条件は、発行価格、償還価格とも額面同額であり、無担保であり、転換価格も265円とするなど発行条件には合理性があると考えております。

3. 項目の訂正 (P. 8)

(訂正前)

【ご参考】

2. 本件資金調達の原因及び資金の用途

(2) 本件資金調達方法を選択した理由

本件資金の調達方法につきましては、将来の利益成長に資する有望な投資機会であることから増資をベースに検討いたしました。調達資金額の大きさや調達時期などから一部新株予約権付社債によることとなりました。

(3) 発行条件の合理性等について

新株予約権付社債の発行に関し、社債の発行価格、新株予約権の発行価格、転換価格、転換価格の調整、償還価格、担保の有無、財務上の特約など発行条件について合理性があるものと判断しております。また、増資に関しても発行価格などの諸条件は合理性があるものと判断しております。

(訂正後)

【ご参考】

2. 本件資金調達の原因及び資金の用途

(2) 本件資金調達方法を選択した理由

対象者の子会社化によるPC事業の推進は、長期的に互いの企業価値を高め合うとの観点から、将来の利益成長に資する有望な投資機会であると判断し、第三者割当増資による資金の調達を選択いたしました。なお10億を超える出資先については、これ以上の株式の希薄化を避けるため新株予約権付社債の引受けを提案したところ受諾いただきました。

(3) 発行条件の合理性等について

第三者割当増資により株式の希薄化は生じますが、当社の将来に向けた成長戦略に欠かせない事業であり、このPC事業の早期立ち上げは当社の将来に大きな影響があるものと予測しております。なお、発行価格265円につきましては、当該増資に係る取締役会決議の直前営業日まで直近3ヶ月(平成19年3月30日から平成19年6月29日まで)に株式会社ジャスダック証券取引所が公表した当社普通株式の普通取引の最終価格の平均値であります。近年の当社の株価の推移や平成19年6月29日の時価との比較の結果、既存株主への影響を含め合理性を有するものと思料しております。また、これ以上の株式の希薄化を避けるための新株予約権付社債の条件は、発行価格、償還価格とも額面同額であり、担保も無く、転換価格も265円とするなど発行条件には合理性があると考えております。

4. 項目の補足(追加) (P. 8. 追加前第(5)号以降は、第(6)号以降に号数繰り下げ。)

【ご参考】

2. 本件資金調達の原因及び資金の用途

(5) 前回調達資金の用途の変更

平成17年2月28日払込の第1回無担保転換社債型新株予約権付社債による手取金741,600,000円は、当初予定どおり全額運転資金として最新技術の開発資金に充当いたしており変更はありません。

5. 項目の補足(追加) (P. 9. 追加前第 号は、第 号に項数繰り下げ。)

【ご参考】

2. 本件資金調達の原因及び資金の用途

(6) 株主への利益配分等

内部留保資金の用途

内部留保資金については、経営成績および財政状態を勘案しつつ、研究開発投資、設備投資および事業展開のための資金に充当してまいります。

6. 項目の補足（追加）（P. 9。下線部分。）

【ご参考】

2. 本件資金調達の理由及び資金の用途

(10) 本件資金調達の日程（予定）

	第三者割当による新株式発行、転換社債型新株予約権付社債の発行
平成 19 年 7 月 2 日	取締役会決議
	有価証券届出書提出（近畿財務局）
平成 19 年 7 月 18 日	有価証券届出書提出の効力発生予定日
平成 19 年 8 月 15 日	募集開始
	申込期日
	払込期日
	転換社債型新株予約権付社債の発行日
	資本組入日

以 上